

平成30年度 経済産業省・国土交通省委託事業「高度な自動走行システムの社会実装に向けた研究開発・実証事業」
「自動走行の民事上の責任及び社会受容性に関する研究」シンポジウム

私たちの将来の「移動」を考える

－自動運転技術がもたらす社会課題解決と豊かな暮らし－

日時 2019年 **3月6日** (水) **13:30~17:30** (開場時間13:00)

会場 **ベルサール神田** (東京都千代田区神田美土代町7)

入場無料 事前登録制

定員 300名 (先着順)

趣旨

自動運転には「物流/移動サービス」、「オーナーカー」の2つの開発のアプローチがあります。特に、物流/移動サービスは、将来の高齢化社会における移動手段として期待されていますが、導入に向けては①技術的課題、②ビジネスモデル上の課題、③社会受容性などの課題があります。この諸課題を専門家の情報提供を得て整理した上で、私たち市民一人一人が将来の「移動」と自動運転の意義を共に考える機会として開催致します。パネルディスカッションでは、2020年の、限定地域での自動運転移動サービス及び高速道路での自動運転 (SAEレベル2,3) の社会実装を目安として、社会受容性向上のための取り組みの在り方を議論します。

内容

基調講演 私たちの生活を支える移動の技術/自動運転技術の未来

東京大学教授モビリティ・イノベーション連携研究機構長 須田 義大 氏

自動車等に関する消費者意識

株式会社第一生命経済研究所 主席研究員 宮木 由貴子 氏

自動運転への期待：事業者の視点 自治体の視点

京阪バス株式会社
(調整中)

自動運転技術の開発状況

- オーナーカーの自動車運転技術の現在の課題と展望
一般社団法人日本自動車工業会 自動運転検討会主査 横山 利夫 氏
- 移動サービスの自動運転技術の現在の課題と展望
国立研究開発法人産業技術総合研究所 首席研究員 加藤 晋 氏

政府の取り組みの紹介

- 国土交通省 ● 警察庁

パネルディスカッション 自動運転技術の社会実装に向けた、効果的な社会への情報提供

<モデレーター> 清水 和夫氏 (国際自動車ジャーナリスト)

<パネル> 八山 幸司氏 (内閣官房参事官) 森山みずほ氏 (自動車ジャーナリスト) ほか

※プログラムは変更になる場合がございます。予めご了承ください。

会場アクセス

https://www.bellesalle.co.jp/shisetsu/tokyo/bs_kanda/access/

新宿線「小川町駅」・千代田線「新御茶ノ水駅」(千代田線)B6出口徒歩2分

丸ノ内線「淡路町駅」A6出口徒歩3分 JR「神田駅」北口徒歩7分

参加申し込み方法

専用ウェブサイトからお申し込みください。

受付完了後、申し込み完了通知メールにて認証コードをお送りします。当日受付にお持ちください。

<https://technova.eventcreate.net/event/3018>

※申込先着順で定員になり次第締め切らせていただきます。

※お申込みによって得られた個人情報は厳重に管理し、本シンポジウムの運営に利用します。

事務局：株式会社テクノバ (担当) 鈴木 木谷 03-3508-2280 e-mail : technova-sympo@technova.co.jp